

北海道地区自然災害科学資料センター報告 Vol.37  
 災害記録：令和4年度（2022年4月1日～2023年3月31日）

No.	年月日	災害名	被害概要
1	2023年1月13日	羊蹄山比羅夫コース雪崩	023年1月13日午後（14時30分前に消防連絡有），羊蹄山（1898メートル）比羅夫コース，5合目から6合目付近（約1160m：北西向き（推定））にて10人組パーティー（うちガイド2名）のうち女性1名（外国籍）が幅5m長さ100mの表層雪崩に巻き込まれ，心肺停止の状態道警のヘリによって病院に運ばれたが，その後死亡が確認された。
2	2023年3月5日	羊蹄山喜茂別コース雪崩	2023年3月5日，羊蹄山喜茂別コースでバックカントリースキーをしていた男性2名のうち，1名が先に下山した。もう1名の行方がわからなくなり，11時半頃に消防へ通報した。ヘリコプターによる捜索の結果，標高800m付近で体の一部が雪に埋まった状態で男性が発見された。男性は病院へ搬送されたが，その後死亡が確認された。
3	2023年3月5日	日高山脈ペケレベツ岳雪崩	十勝管内清水町のペケレベツ岳（1532m）北東斜面でバックカントリースキーをしていた4名のうち1名の男性が雪崩に巻き込まれた。標高1100m付近で雪に埋もれた男性を発見した。男性はその後死亡が確認された。
4	2022年12月24日	国道273号上川町字中越表層雪崩	2022年12月24日6時頃，上川郡上川町字中越の国道273号KP122.4付近で面発生乾雪表層雪崩が発生しているのを発見した。雪崩は斜度約30°の沢型を流下して，センターライン付近まで達した。破断面の厚さ約35cm，幅6m，走路長約50m，デブリの体積は約100m <sup>3</sup> であった。当時新雪が約50cm積もっていた。全止めの通行規制を行った。
5	2023年2月28日	国道453号千歳市幌美内モンベツ覆道全層雪崩	2023年2月28日17時頃，千歳市幌美内の国道453号KP44.0モンベツ覆道で面発生湿雪全層雪崩が発生しているのを発見した。雪崩は斜度約35°の沢型を流下して，スノーシェッドに達し，デブリの一部は湖畔に流下した。発生区の斜度約40°，破断面の厚さ約100cm，幅50m，走路長約750m，デブリの体積は道路延長32mと湖畔のデブリを合わせると約3750m <sup>3</sup> であった。支笏湖のテレメータによると前日昼から気温がプラスを記録しており，28日の12時以降は+7℃以上となり，急激に気温が上昇していた。全止めの通行規制を行った。
6	2023年3月8日	国道40号音威子府村岡穂内覆道表層雪崩	2023年3月8日16:45頃，国道40号KP137.35音威子府村岡穂内覆道で面発生湿雪表層雪崩が発生した。雪崩は比高約400m，斜度約40°の沢筋から発生し，破断面の厚さ約1.4m，幅10m，走路長800m，スノーシェッド上を流下して天塩川河畔にデブリが堆積した。デブリの一部はスノーシェッド内に侵入した。はじめに表層雪崩が2度，その後全層雪崩が発生したことが推定される。デブリは河畔に推定27,000m <sup>3</sup> ，覆道内に推定230m <sup>3</sup> であった。気温は8日11時に9.5℃まで上昇し，13時から14時にかけて4mmの降水を記録した。全止めの通行規制を行った。
7	2023年3月13日	国道38号南富良野町字落合全層雪崩	2023年3月13日17時10分頃，南富良野町字落合の国道38号KP105.37付近で面発生湿雪全層雪崩が発生しているのを発見した。雪崩は斜度約40°の法面で発生し，破断面の厚さ約40cm，幅16m，走路長48m，デブリは路肩まで達した。デブリの体積約770m <sup>3</sup> であった。気温は13日11時に5.1℃まで上昇し，雪崩発生時は4.9℃であった。また，14時から17時にかけて11.5mmの降水が記録された。全止めの通行規制を行った。

※委員から任意の報告分であり、全ての災害を記録したものではありません。